

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	のびっこらんど (児童発達支援事業)		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 5日	～	令和7年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 5日	～	年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	令和7年 2月 1日
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種(保育士、言語聴覚士、児童指導員)なので支援内容など多角的な意見がある。	気付いたことや支援においてその日のうちに共有出来るようスタッフ間で意識的に声掛けを行っている。	他事業所から見学に来ていただき、支援内容等についてアドバイスをいただく機会を持ちたい。
2	関係機関との連携が取りやすく、協力しやすい体制が取れている。	行政や相談支援専門員に子どもの様子や保護者の様子で変化や気になることがあった際には連絡を取り、情報共有し、支援の手立てとしている。	保育所や幼稚園に定期的に訪問したり、事業所に訪問したりしながら子どもの状況を確認し、その時々で対応方法を話し合い、より良い支援に繋げていきたい。
3	地理的に双葉郡が近く、双葉郡に事業所がないため、地域、行政から必要とされている事業所である。行政や民生委員の方が事業所を蹴願したりと地域に根ざした事業所である。	支援内容や普段の様子など電話だけでなく、実際に見学に来ていただき、生で感じていただく機会を設けている。	地域の方と子どもたちが触れ合う機会を増やしていきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部への発信力が弱い。	関係機関と連携は取れているが、連携だけで終わってしまっている。	関係機関で集まり、より良い支援のために勉強会などを開催し、知識を深めていけるような取り組みが必要であると思う。
2			
3			